

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【公表番号】特表2013-531831(P2013-531831A)

【公表日】平成25年8月8日(2013.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2013-042

【出願番号】特願2013-509175(P2013-509175)

【国際特許分類】

G 06 F 17/50 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/50 6 2 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月5日(2014.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データ処理システムによって実行される方法において、前記方法は、複数の形状を有するCADモデルを受信するステップと、前記形状の各々に対する自由度の数を決定するステップと、前記形状の各々を位置決めするために用いられる複数の制約を決定するステップと、前記制約によって取り除かれる自由度の総数を決定するステップと、定義中の形状および定義済みの形状を識別するステップと、前記定義中の形状のうち単数による定義中である形状をUDSと識別するステップと、UDSと識別された前記形状の各々のためのUDS指標を保存するステップと、を含む方法。

【請求項2】

前記CADモデルを受信するステップは、形状の少なくとも一つのセットを識別するステップを含み、

他のステップの各々は、形状の前記セットにて実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記CADモデルは、3次元である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

定義中の形状は、定義中であるが、自由度に等しい制約の数を有するとき、UDSと識別される、

請求項1に記載の方法。

【請求項5】

単数から計算された(CFS)指標を識別し、保存するステップをさらに含み、

前記指標は、UDSまたはCFSと識別されるサポートとして少なくとも1つの形状を有する任意の形状に関連している、

請求項1に記載の方法。

【請求項6】

プロセッサと、アクセス可能メモリと、を具えるCADデータ処理システムであって、

前記 C A D データ処理システムは、  
複数の形状を有する C A D モデルを受信するステップと、  
前記形状の各々に対する自由度の数を決定するステップと、  
前記形状の各々を位置決めするために用いられる複数の制約を決定するステップと、  
前記制約によって取り除かれる自由度の総数を決定するステップと、  
定義中の形状および定義済みの形状を識別するステップと、  
前記定義中の形状のうち単数による定義中である形状を U D S と識別するステップと、  
U D S と識別された前記形状の各々のための U D S 指標を保存するステップと、  
を実行するように構成されている C A D データ処理システム。

【請求項 7】

前記 C A D モデルを受信するステップは、形状の少なくとも一つのセットを識別するステップを含み、  
他のステップの各々は、形状の前記セットにて実行される、  
請求項 6 に記載の C A D データ処理システム。

【請求項 8】

前記 C A D モデルは、3 次元である、  
請求項 6 に記載の C A D データ処理システム。

【請求項 9】

定義中の形状は、定義中であるが、自由度に等しい制約の数を有するとき、U D S と識別される、  
請求項 6 に記載の C A D データ処理システム。

【請求項 10】

前記 C A D データ処理システムは、単数から計算された ( C F S ) 指標を識別し、保存するステップを実行するようにさらに構成され、  
前記指標は、U D S または C F S と識別されるサポートとして少なくとも 1 つの形状を有する任意の形状に関連している、  
請求項 6 に記載の C A D データ処理システム。

【請求項 11】

非一時的コンピュータ可読媒体であって、実行時に、C A D データ処理システムに、  
複数の形状を有する C A D モデルを受信するステップと、  
前記形状の各々に対する自由度の数を決定するステップと、  
前記形状の各々を位置決めするために用いられる複数の制約を決定するステップと、  
前記制約によって取り除かれる自由度の総数を決定するステップと、  
定義中の形状および定義済みの形状を識別するステップと、  
前記定義中の形状のうち単数による定義中である形状を U D S と識別するステップと、  
U D S と識別された前記形状の各々のための U D S 指標を保存するステップと、  
を実行させる命令によってコード化される 非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 12】

前記 C A D モデルを受信するステップは、形状の少なくとも一つのセットを識別するステップを含み、  
他のステップの各々は、形状の前記セットにて実行される、  
請求項 11 に記載の 非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 13】

前記 C A D モデルは、3 次元である、  
請求項 11 に記載の 非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 14】

定義中の形状は、定義中であるが、自由度に等しい制約の数を有するとき、U D S と識別される、  
請求項 11 に記載の 非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 15】

前記 C A D データ処理システムに、単数から計算された ( C F S ) 指標を識別し、保存するステップを実行させる命令をさらに具え、

前記指標は、 U D S または C F S と識別されるサポートとして少なくとも 1 つの形状を有する任意の形状に関連している、

請求項 1 1 に記載の 非一時的 コンピュータ可読媒体。